

第16回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成29年12月14日 (木曜日) 13:30~14:50
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 特別養護老人ホームご家族代表
小規模多機能型居宅介護ご家族代表
知見者代表 (地域密着型複合施設わしま)
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)
長岡市栃尾支所市民生活課
地域包括支援センターとちお
法人代表 (いずみ苑園長)
法人代表 (いずみ苑事務長)
特別養護老人ホーム管理者
グループホーム次長
小規模多機能型居宅介護管理者
小規模多機能型居宅介護副任 / 計 12名

欠席者 特別養護老人ホームご利用者代表
長岡市介護保険課
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員) / 計 3名

欠 員 グループホームご家族代表
グループホームご利用者代表
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表 / 計 3名

議事次第

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について
特別養護老人ホーム
グループホーム
小規模多機能型居宅介護
2. 事故及びヒヤリハットの報告について
3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について
小規模外部評価：地域かかわりシートのまとめ
4. その他

開 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ただいまから第16回運営推進会議を始めます。

本日の欠席は、地域住民代表（栃尾宮沢区民生児童委員）、長岡市介護保険課です。欠員はグループホームと小規模多機能のご利用者、グループホームご家族代表です。よろしくお願いいたします。

本日の会議の議題は、主が小規模多機能の事業者評価です。小規模多機能の職員が書記として同席させていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日は事前の資料の他、全12ページの資料をお配りいたしました。それでは1番の経過報告・利用者の状況からご説明いたします。

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について

- みやざわ苑行事等経過… 資料に沿って説明する（P1～P3）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

1ページ、前回の運営推進会議からの経過です。網掛けのところは前回までの経過です。

10月26日、2階で「動物ふれあい訪問」愛護協会さんが来られました。7月にもグループホームと小規模多機能の入居者・ご利用者の方が対象で今回は特養の方が対象で2回目です。

11月10日、長岡神田地区の民生委員・地区の福祉会さん、20名見学に来られました。地域は栃尾ではありませんが、小規模多機能について質問が沢山ありました。見学を含めて1時間くらいいらっしゃいました。

11月14日、グループホームで初めてお寿司屋さんから来ていただいたイベントを行いました。

11月20日、21日、29日と3回に分けて感染症、特にノロウイルスの嘔吐などで感

染を広げないための研修を行いました。

1 1月24日、バンド演奏「3年A組」さんでした。6月にも来ていただきました。

1 1月27日、夜勤職員を対象の健診を行いました。

1 2月7日、特養と小規模多機能のご利用者から冬ですのでお鍋を楽しんでいただきました。行事等の経過は以上です。

続きまして2ページ、3ページをお願いします。在籍者の人数は、3ページの一番下の表です。本日14日現在の在籍者数は、特別養護老人ホーム定員29名、現在員28名です。この12月10日に1名お亡くなりになりましたが、明日1名入られますので明日から29名と満床になります。小規模多機能登録17名です。グループホームは定員18名、現在18名です。

在籍者については以上ですが、地域の特養の待機者、グループホームの待機者が表面上の数字ほど多くない感じがします。皆さんお部屋が空きましたと声を掛けますと、「間に合っている」「他のところで落ち着いているのでいい」ということで断られることが多いという感じです。そこで、特養（みやざわ苑）の空きがでますと、小規模多機能かグループホームの方が特養に入居するという現象が続いております。そのために小規模多機能が増えても特養・グループホームに入るということで小規模多機能の登録者数は一進一退です。

状況は以上ですが、ここまでで皆さん何かご質問・ご意見はございますでしょうか。

それでは2番目の事故及びヒヤリハットの報告に進みたいと思います。

2. 事故及びヒヤリハットの報告について

○ 平成29年度事故発生状況調べ… 資料に沿って説明する（P4～P12）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

資料の4ページから12ページまでが事故についてです。

今回、10月と11月の数字が加わりました。今回、3事業合わせた事故が4件、ヒヤリハットが3件でした。12ページをお願いいたします。特養みやざわ苑から説明いたします。

個人ID21番の方です。センサーの反応で訪室するとガタンと音がしたということで、職員が部屋に入りましたら壁にもたれて横たわって転んでいる状態でした。右の太ももに痛みがあるということでしたが、腫れなどがその時には無かったのですが、朝になって腫れを確認し、救急車で病院へ行って手術となりました。その後、3週間で私どもの特養に戻ってきております。この方は普段はご自分で歩行されていた方です。職員の見守りはケアプランからも見守りを要していなかった方です。歩行が自立されていた方が転倒されて、結果、骨折されたというものです。退院されて戻ってきましたが、ベッド上で動かされて落下しての怪我を心配しました。改善策は、特養の夜勤は2名ですが、1名をそこのユニットから離れな

いようにして、すぐに行ける体制をとるということで、離床センサーを使用し、ベッドから背中が浮くと音が職員の方へ伝わるというものを使用しました。

105番の方です。この方も自分で歩かれる方なのですが、見守りや手を引いたりすることが必要な方です。お部屋のベッドから物が落ちたので自分で拾おうとして落ちて転んだというものです。お話の分かる方でいらっしゃいますので、落ちた物を拾う時はコールを押して職員を呼んでくださいとお願いしました。

63番、112番は、状況詳細はありますが、いつどこでできたか分からない内出血のものです。改善策はまだ立てていません。特養については以上です。

小規模多機能型居宅介護管理者

小規模は1件です。昼寝から起きトイレに行く際のことです。ご本人は右手で手すりを掴んで、左側には職員が付き添って歩行していましたが、体勢を崩し、身体を支え切れずにゆっくりではありますが床に尻もちを着きました。かなり早足で歩かれるかたで、姿勢も前傾ぎみで歩かれます。認知症もあり、耳もかなり遠い方です。改善策は、職員の付き添い継続、歩行動作を始める時にはっきりと、ご本人へ焦らずゆっくりと行っていただくようにひと言声を掛け、動作、行動、歩行していただくとなりました。

グループホーム次長

グループホーム1件目です。農業まつりの際道の駅に出掛けました。ある入居者が家族のために野菜を買いたいということでした。その場で体調がすぐれないようでしたので、ベンチのところで休んでいただき、その間に職員が野菜を買いに行ったところ姿が見えなくなったものです。入居者のかたはトイレに行きたくなって1人で行っていた、職員は焦って姿を探したという状況です。改善策は、当然ですが、少しの間でも目を離さないとなりました。

2件目は服薬事故です。歯科受診をして、臨時薬として痛み止めと化膿止めが出ました。ご本人が痛いということで職員のところへ来ましたので痛み止めを服用していただきましたが、袋の中の残数が違っているということで照らし合わせたら、朝の分を飲んでいなかったことがわかったというものです。臨時薬ということもあつたのか結果として伝達不足でした。改善策は、深夜勤務の職員が薬の準備・セットを行うことを徹底する。薬のケースには臨時薬でも薬の名前を貼ることになっていましたが貼ってありませんでしたので、臨時薬でも薬ケースにきちんと名前を貼るように徹底しました。以上です。

質 問・意 見

特別養護老人ホームご家族代表

家族へはその都度連絡が入っているのでしょうか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

はい。入れております。

3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について

小規模外部評価：地域かかわりシートのまとめ

○ 事業所自己評価（1番～9番）

外部評価 地域かかわりシート①（P1～P3）…資料に沿って説明する

小規模多機能型居宅介護管理者

皆様にはこれから地域かかわりシート①のA～Fの項目でできている点、できていない点、もしくは、もっとうした方が良いのではないかとということをお伺いしたいと思いますが、そこに囚われることなくチェックした部分で感じたことなどをお聞かせ願えればと思います。特に今回、Aの事業所自己評価の確認のところでもわかりづらいところがありますのでご説明いたします。

皆様に配布した事業所自己評価ですが、小規模多機能の常勤職員は10名です。その職員10名全員が個人評価を行いました。そこから事業所の職員が集まって話し合いましたが、夜勤職員と家庭の事情で出席できなかった職員以外の8名が話し合いに参加した人数となります。

それでは順番に進めて行きたいと思います。

A：事業所自己評価の確認の項目になります。事業所の自己評価(1番～9番)全体を確認していただいて、改善計画をもっとうした方が良いとか前回の改善計画は割とできているとか、もっと足した方が良いなど、テーマはフリーな形として何かご意見等ございませんでしょうか。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

皆さん苦勞されて改善されているようで良かったと思います。

長岡市栃尾支所市民生活課

Aの事業所の評価のところは、初期支援のところでもサービス利用時に必要としている支援で10人全員が「なんとかできている」ということもあり、これも自己評価に取り組んでいるのだなということで、Aが評価されていると判断しました。

知見者代表（地域密着型複合施設わしま）

利用者さん一人ひとりに合ったサービスを職員全員で考えているなというところは見えました。私たちも一緒に、地域との関わり方というところがどうしていくかというところが

あるのかなという感じで、その地域と関わるということで外出をしたり、地域のイベントに頼りがちなのですが、一人ひとりの利用者さんが地域でどのように生活してきたかというところをもう少し掘り下げて、関わりの輪を作っていこうかなと悩んでいるところです。職員全体で頑張っているところは見えておりますので。

小規模多機能型居宅介護管理者

今もありましたとおり、なかなかできていないところは地域との関わりがまだまだ不十分ではないかということです。職員の評価で「あまり上手くいっていないのではないか」ということが多くなった項目であり、地域の会議や職種によってそこに参加することがない職員もおります。その部分で評価が同じ項目でも分かれていると思います。今回は3回目の評価になります。職員も、段々良くなってきているとは思いますが、まだまだ足りないのではないかと思いますので、同じ職員でも目線が変わってきているのが会議を通して感じてきたところです。

法人代表（いずみ苑園長）

改善されているところもありますが、「あまりできていない」「ほとんどできていない」というのがあるというのは、せっかく改善策を作ったのに残念な面があります。例えば日常生活の支援で前回の改善計画の取り組みで「あまりできていない」が5人、「ほとんどできていない」が4人、その下の今回の自己評価で「あまりできていない」が7人、努力はされているとは思いますが、実際の実績に上がっていない。6.連携・協働のところでは今回の自己評価の状況は「ほとんどできていない」が7, 7, 6, 5という感じで、この実態があることに対して、どう取り組むかをこれから大変なことだなと見させていただいたところです。

小規模多機能型居宅介護管理者

今、お話いただいたとおり、3番の日常生活の支援の前回の改善計画は、前回の改善計画に対する結果ということで、かなりできなかつたところでもあります。日常生活の支援の1番の、以前の暮らしの把握について、ある程度把握していても10個というと結構多いので、なかなか難しいのではという意見も実際ありましたし、昨年度も6番の連携・協働のところでは1番できていないところに印しがあったということで、昨年度も意見をいただいたところです。

外出やイベントには参加しておりますが、例えば③の自治会とか町内会、消防団等になりますと、職員の方も外出はしているがここまでの地域の会というところへは踏み込んではいないのではということで評価の方が低くなりましたし、①ですと、管理者やケアマネですと他のサービス機関と話をする機会がありますが、介護職員ですとなかなかそこまでということもあり、低くなっているところで、何か考えていく必要があるのかと思います。

他にAの事業所自己評価のところを感じたこと、何かある方いらっしゃいませんか。
次にBの項目に移ります。

B：事業所のしつらえ・環境の項目です。皆さんチェックしていただいて感じたこと、こうした方が良い、ここはどうなっているのか等、感じたことがありましたらお願いします。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

私の家族が6年間施設でお世話になっていましたが、そのスタッフと比較ではなく思い出しながら書きました。利用者に入りやすいとか言いますが、普通の人に何も用の無いのの中を見せてくれとは言えないわけですので、地区の役員で施設の中を見てみようということで、私も呼んでもらったり顔を出していましたので、せっかくこのような良い施設が出来たので理解してわかっていた方が良いので話をするのですが、誰かが音頭を取らないと入りにくいのだと思います。

小規模多機能型居宅介護管理者

昨年はこちらも入りやすい雰囲気ではないという意見も実際ありました。逆に防犯上、入り易いのもどうかという意見もありました。その兼ね合いというものが難しい項目となるかと思いますが。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

衛生面で手を洗ったり消毒をしたりと、相手がお年寄りですので敏感になってしまいます。

地域包括支援センターとちお

Bの項目で、仕事の関係でよく寄せていただいています。飾りつけなどほんわかとしたような良い感じの雰囲気だと思います。フロアの作品を見て一生懸命取り組みをしていると思いましたが、できればもっとアピールできれば良いと思いました。

グループホーム次長

中の様子があまりにも見えすぎるのも良くないという配慮もあると思います。前回の改善計画で整頓チェック表を作成してというなかで、チェックをする人が中の職員だけではなく、他に面会の方にもしていただくと、私たちが綺麗にしているんだけどちょっと違うなど指摘して下さる方もいるので、自分たちだけでなく他の方からも片付けや飾りつけなどを見ていただくのも良いかなと思います。作品など取り組んだものを掲示したものを来苑者の方が見てすごいなという声も聞かれています。

特別養護老人ホームご家族代表

いつも感じていますが、新しいことは新しいのですが清潔にされていますし臭い等も全くありませんので、環境的には素晴らしいと思っていますが、それは職員の方が日々、コツコツ努力されてる結果が出ていると思います。それと玄関に入って来ますと必ず元気よくどの職員も挨拶をしてくれますので、このままさらに続けて行っていただければと思います。

小規模多機能型居宅介護管理者

他にこの事業所のしつらえ・環境の項目についてご意見等ありますでしょうか。無いようでしたら次の項目に移りたいと思います。

C：事業所と地域のかかわりの項目になります。皆さまにお配りした事業所の自己評価のところでも、地域との関わりが評価で上手くいかなかったとありますので何か意見がありましたらお願いいたします。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

スタッフと入所者の関係の中で言葉をかけていると思うが、栃尾の方ばかりではなく他から来ている人もいると思うので、地元の方言でなく標準語で話しかけた方が良いのではという意見もありますし、方言のほうが地域という感じが出るのではとも思っています。常識の範囲内になります。

法人代表（いずみ苑園長）

地域には同じような名字の方がいらっしゃいます。他の事業所から来られますと名前と呼ぶのはいかなものかと言われる方もおられますので、了解を得て下の名前と呼ばせていただいたり、統一的に「さん」を付けることにしています。

あまりにも方言を使うのはいかなものかという方もおられます。いろいろな所からご利用されていますし、面会者もいろいろな所から来ていただいています。地域の方ばかりではなく長岡市や他のところからも来ていただく中で方言は・・・と、いろいろな意見もありますが、基本的には相手を敬う気持ちを持ってということになります。

法人代表（いずみ苑事務長）

できている職員とできていない職員がいると感じます。お年寄りで耳が遠いと大きな声で分かりやすく話と短い言葉で聞こえた感じが良くないと思いますので、できている職員とできていない職員の差を少なくしてお年寄りとのコミュニケーションがとれればと感じています。

小規模多機能型居宅介護管理者

耳が遠い方には職員も耳元で少し大きな声で話すことが多いのですが、実際にご利用者さ

んからは大きな声で話されると怒られているようだという意見もありましたので気をつけなければですねとお話したこともありました。

長岡市栃尾支所市民生活課

支所の窓口でも耳の遠い方が多くて、どうしても声が大きくなりますが、個人情報など必要な時は書いたりしていますが、中には難しい説明もあります。預金のことなど窓口で聞かないといけない時代になりまして、奥さんの通帳でも奥さんの名前や通帳の残高を大きな声で言わないように十分注意しています。皆さんは体力を使いながらですのでよろしく願いいたします。

小規模多機能型居宅介護管理者

職員も地域の関わりや接遇の部分になってくると思いますが気をつけて取り組んでいきたいと思えます。

Cの項目で他にご意見等ありませんでしょうか。次の項目に移ります。

D：地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みについて、先ほどのCの項目と地域ということで重なるところが出てくるかもしれませんが、感じたこと等お聞かせ願えればと思います。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

全体的によくできていると評価しました。

知見者代表（地域密着型複合施設わしま）

これまで地域行事の参加は事業所単位の感覚でしたが、先月くらいから一人ひとりの訪問の時に地域でどのように生活できるかというカンファレンスがあって、独り暮らしで女性のケースで、訪問の時に今まで行っていたお店と一緒に買い物に行ったり、地域のサロンと一緒に行くような取り組みを試みています。事業所単位で行事に行くことは多いのですが個人の暮らしというところを考えています。

小規模多機能型居宅介護管理者

今回、職員の個人評価の時に今の話が出て、事業所としてイベントや外出をすることはあるが、利用者個々が地域にと行ったときにどうなんだという意見がありました。お話しいただいたところになるかと思えますので参考にさせていただきたいと思えます。

地域包括支援センターとちお

地域に出るきっかけとして栃尾地域には「お茶の間」という各地域で行っている場所が何

か所もありますので、ここのご利用者のお住まいの地域にありましたら一緒に参加させてもらい、介護予防のお話などをさせて下さいと声を掛けるのもご利用者がホッとすることかなと思います。

特別養護老人ホーム管理者

近くに道の駅があり、産業交流センターがあり、子育てがあり、恵まれていてそことの関わりは持っているのですが、それ以外に広げられていないので、難しいと思いますが宮沢区や天下島区の住民の方と何らかの交流を持ちたいのですが、具体的にできていません。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

あまり密接になると家に帰りたいと訴える方もいますし、家族の本音もあると思うのでいろいろな問題があると思います。

法人代表（いずみ苑園長）

「利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか」とありますが、どのようなことを想定すればいいのか。具体的に会議となりますとどのようになりますか。

地域包括支援センターとちお

「地域ケア会議」について、長岡市からも定期的にするように言われていますが、小規模多機能のご利用者の方で事例が困難な方がいるとしたら、包括に声を掛けていただいて地域会議としてそのことを検討する会議を開催することも可能だと思います。その場合、その方に関係する方も来られますが、直接関係しなくともその方が課題とする関連の専門家をお呼びすることも可能ですし、行政にも会議に出席していただきますし、場合によっては地区の民生委員の方や区長さんにもお声を掛けて出席していただくことも可能だと思います。

長岡で定期会議を行っていますのでこの項目に当てはまると思います。

知見者代表（地域密着型複合施設わしま）

地域ケア会議から利用に至った方も数名おられます。支援を行っていて、6ヶ月後にはどのようになったか継続的に地域ケア会議を包括支援センターが企画しています。

地域包括支援センターとちお

利用者でなくともこれから利用に繋がりたい方とか小規模多機能型はとても良いサービスですので、私たち側からも繋がりたいと思う方もいます。なかなかサービスをスタートできない、周りと調整しないと利用に至らない、事業所の中では困難な事例もあると思うので、包括に声を掛けていただき会議に出席していただくとこちらとしてもありがたいと思います。

小規模多機能型居宅介護管理者

Dの項目で他にご意見がある方はおられませんでしょうか。次にEの項目に移ります。

E：運営推進会議を活かした取り組みについて、チェックしていただいたなかで感じたことや運営推進会議をもっとこうの方が良いのではなどの意見をお聞かせ願えればと思います。

法人代表（いずみ苑事務長）

今回チェック表をチェックするのに感じたのは、外出しているとか、経過報告で書道を楽しまれているなどありますが、「人数が分からない」「状況が分からない」といつ何をしたかは分かりますが、どんな形でどのようにというのが掴めないでチェックをするのに困りました。もう少し状況等を運営推進会議の中に入れていただくとチェック表も付けやすいかなと感じました。

わしらの安達さんにお聞きしたいのですが、運営推進会議の記録は各事業所さん、議案とか記録はまちまちなんですが、どのような形で伝える工夫をしていますか。

知見者代表（地域密着型複合施設わしま）

事業所の内容をスライドで写真を使っていますが、それは活動内容だけであって、それ以外のところでは紙面になってしまいますが、活動内容に関しては紙面には簡単に落として活動写真で逆に長いと言われたこともありましたが、利用者さんの活動している雰囲気とか表情が見えて、これくらいの人数が関わって活動しているのだなというところを目で見ていただいて活動報告は各事業所で行っています。

法人代表（いずみ苑事務長）

各事業所でもう少し活動内容をこの場でアピールしたり、こんなことをしていますということを書いていただくと伝わりますので、この項目もチェックができるところが増えるのかなと感じました。

地域包括支援センターとちお

他の運営推進会議の資料を見させていただいて、配布文章は見やすいと思いますが、前回の改善計画で利用者や職員の感想などを入れたものとしていますので、改善としてまだまだ見受けられないところもあると思います。もう少しアピールしてもいいのかなと思います。

法人代表（いずみ苑事務長）

資料を細かくすると作る側は大変になりますので、各事業所の代表の方が出ていますので、

事業所の方が自分たちの経過報告を伝えるなど、1人の人に負担を掛けずに各事業所で役割を持って行うと良いと思いました。

特別養護老人ホームご家族代表

地域の心配な方の事例についてどうのことでしょうか。地域の方が相談に来られるということですか。相談はありますか？そのような方は市の方へ相談に行くと思いますが。

小規模多機能型居宅介護管理者

例えば、地域で独り暮らしで生活が心配という方がおられたら、運営推進会議でその方の事例を取り上げて、委員の方からどのような方法で動いたら良いか、どのように支援をしていったら良いのか検討していくということになりますが、相談はありません。個人情報とかプライバシーが関わってきますので。

あまりありませんが、地域で困っている方がいても「どこに相談しようか」といった事例はあると思いますので、例えばここに相談に来て最終的な解決や窓口にならなくとも、相談されたい方が来られたのでと包括や市の方へ繋げることは出来ると思います。

特別養護老人ホームご家族代表

窓口を広げておいて、〇〇へ相談したらとか、〇〇へ紹介したりとか、こういった話を聞いてもらいたいなどの形の方がいるのではないのでしょうか。

小規模多機能型居宅介護管理者

事例検討は難しかったり、心配のある方、相談のある方といっても、ここだけで解決できるかというところかなり難しいこともありますので、相談機関に繋ぐとかは十分できるかと思います。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

長岡で先月、近くのおばあさんが具合が悪くなりどこに相談したらよいかということで市の窓口で福祉課が一番早くていいのではということになりました。地域によりますが、移って日が浅かったので周りの人たちと付き合いも少ないし苦労しましたが、自分もそういうことに当たるとはと痛感しましたが、相談窓口をきちんと理解しておかなければと思いました。

小規模多機能型居宅介護管理者

それでは最後の項目になります。

F：事業所の防災・災害対策についての項目です。

法人代表（いずみ苑園長）

各事業所でマニュアル等を作成してもらって、災害で風水害、火災、地震等、多岐にわたっていますが、一番恐れがあるのが水害で川も近くにあります。市としてはおりなすが防災の地域の避難場所に指定されていますが、そこには私どもは行くわけにはいかないので、水が近くなったら2階に上がるとかいろいろ考えなければいけません。法人のいずみ苑やおおの苑との関連も当然必要となりますが、職員の伝達方法など基本的なことをまずしておく必要があると考えています。また、地域との協定を結んでいるとのことですが、文章だけではなく、訓練には来ていただいています、地域の訓練には参加しているのか？連携を取るにはお互いの行き来が必要だと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

関連してですが、防災訓練はやってきましたが公民館での避難訓練は今まで1回もやっていませんでした。昨年と今年に区の役員数名だけでしたがここ(みやざわ苑)にお呼びいただきましたが、区の人たちも公民館で火災が起きてもどのように避難したらいいか訓練をしたことがないということで消防署にお聞きして、今年初めて夜の7時頃に30人位集めて行いました。ある会議を利用して、1階で無通知で行い、2階が避難場所になっているのでそこから避難してもらおうとしましたが分からないんですね。それと消防署の方から聞きましたがカーテンも防災の物があると、一般の方は知りませんでした。私ども役員がみやざわ苑で実際に見せていただいて、やってみることにしましたが、区の人たちにも、もし何かあった時に認識を持たせようかと考えています。また来年も、行いたいと思いますのでその時は是非声を掛けたいと思います。

長岡市栃尾支所市民生活課

災害時は頼りになるということでチェックをしましたが、備蓄としてはどれ位ストックがあるのでしょうか。

特別養護老人ホーム管理者

全部（水・缶詰）が3日間です。入居者の分で、フロアに来た人の分はありません。

長岡市栃尾支所市民生活課

先ほど法人代表（いずみ苑園長）さんが話されたように、おりなすが全面的に市の防災地区センターになっていて、高齢者センターとちおが福祉避難所になる予定なんです、詳しいマニュアルとか、あそこも普段は200人近く来ていますので、とっさの災害の時にどうなるのかと、不透明で、おりなすの中に入っている「子育ての駅 すくすく」が母子の方の避難所となっていますが、週4回のところなので物資の提供で終わるのではないとか、災害の時はこういう施設も頼りになるなどは思っていますが、実際に連携していくにはもう少し詰めていかなければと思っています。

福祉避難所などに来る物資は、水とか段ボール、赤ちゃんの分ですとミルクとか置いてありますが、高齢者では大人用紙おむつ、子ども用では赤ちゃんの紙おむつなど、人数的にはごく少ないものなので、今度どうなっていくのか参考に備蓄の数を聞かせていただきました。

特別養護老人ホーム管理者

福祉避難所ということになればここはなっていないと思いますが、お話があれば考えていかなければいけないと思っています。

長岡市栃尾支所市民生活課

市としては高齢者センターとちおということで、そこから本当に介護の必要な方は緊急ショートとか、もし空きがあればお願いすることになると思います。指定だけは受けましたが実際になった時にマニュアルが来ていないのでどうなるのかと思った時に、備蓄品のことをお聞きしました。

特別養護老人ホーム管理者

備蓄も煮炊きというよりは、乾燥したものを水で戻すといった簡単なものになります。この場合は、まだここを回すのが精いっぱいという感じでして、後は栃尾宮沢地区の協定で何かある場合には応援するとなっていますが、ここに留まってとなります。

法人代表（いずみ苑事務長）

いずみ苑でも防災に関しまして、この備蓄品で同じような意見が出まして、ご利用者の分はありますがスタッフの分をどうしようかという意見が出ています。中越地震の時はご利用者の分はありましたが、スタッフの分は無かったので、この地区は農家が多いものですから家が近いものが炊き出しを持って来たりしました。今後スタッフの分も残って業務をする方もいますので考えていかなければと改めて思いました。

小規模多機能型居宅介護管理者

みやざわ苑も栃尾宮沢地区と協定を結ばさせていただいて、実際に災害が起きてしまった時には、例えば入浴場の解放とかの協力をということで、回覧の中に入れさせていただきましたが、実際の時には細かいところではどう動けるのかと心配なところはあると思います。

皆さまからいただいた意見は小規模の職員が共有し、改善策を立てたいと思います。改善策は次回、サービス評価の総括表を作成し、2月の運営推進会議の時に皆さまからご確認していただきたいと思っています。

4. その他

小規模多機能型居宅介護管理者

一人暮らしのご利用者1名が、昨日から連泊利用になりました。

冬期間は降積雪のため、近所や親族の支援をもってしても一人暮らしの継続が困難のケースです。ご本人は昨年も同じ形で利用しました。春になったらご自宅で生活をしていきたいというかたです。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

時間が少し過ぎましたが、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。

○ 第17回運営推進会議開催日について

平成30年2月22日（木曜日）13：30～14：30終了の予定